「国会議事録」における漢語「微妙」の意味用法の特徴

－談話機能を中心に－

조영희*
yhee0410@ggu.ac.kr

Contents

Ⅰ. はじめに
Ⅱ. 研究資料について
Ⅲ. 「国会議事録」における使用状況
Ⅳ. 漢語「微妙」の意味用法の特徴
Ⅴ. まとめ

Abstract

本稿では、趙(2012)の 「微妙」の意味用法についての考察結果を踏まえつつ、話し言葉コーパス「国会議事録」における漢語「微妙」の意味用法の特徴について考察を行った。具体的な研究課題は、「国会議事録」における 「微妙」の使用状況の概観及び現代語の俗語用法につなる談話機能を中心に、「微妙」の意味用法の特徴を明らかにすることである。「国会議事録」の 「微妙」の用例を採集・集計した結果からは、どの年代においても連体用法が約7割以上を占めること、連用用法は徐々に増加する傾向にあり、叙述用法は若干の変動はみられるものの、一定していることがわかった。また、「微妙」の体言及び連用用法の例、外来語の修飾例を通じて、本来中国語である漢語「微妙」の日本語化する様子がうかがわれることを指摘した。次に、「国会議事録」の 「微妙」のデータを用法別に分類し、「KOTONOHA」の集計結果と比較を行った結果、「国会議事録」の 「微妙」のデータは、話し言葉の特徴を持つ 「非母集団・知恵袋と非母集団・ブログ」より 「非母集団・知恵袋と非母集団・ブログ以外」との類似性が認められ、書き言葉の特徴が多分にあることが明らかになった。意味用法の特徴としては、意味的な特徴及び用法の発生時期からみて、① 「美しさ・味わい・状態などの、こまかなところに重要な意味がこめられていて、ひとくちに言いあらわせないようす。デリケート」の意味用法から② 「どっちともはっきり言い切れないようす」の意味用法が派生したことが推定されることを述べた。また、質問・答弁の際、話し手の意見を聞き手に婉曲に提示する 「微妙」の談話機能について考察し、現代語の俗語用法につながることを指摘し

* 금강대학교 일본어통번역학과

교보문고 KYOBO Book Centre

た。最後に、「国会議事録」に否定的なニュアンスを帯びた 「微妙」の例がみられ、俗語用法との関わりがうかがわれることを指摘した。

Key Words : 意味用法、漢語、国会議事録、談話機能、微妙
semantic usage, chinese-styled words, kokkaigijiroku, discourse function, bimyou

Ⅰ. はじめに

漢語「微妙」[1]は、本来「美しさ・味わい・状態などの、こまかなところに重要な意味がこめられていて、ひとくちに言いあらわせないようす。デリケート」の語釈[2]を持つ語であるが、「判断がつかないときの返事に使う若者ことば」[3]の俗語用法が認められる。趙(2012)では、現代日本語書き言葉均衡コーパス(以下、「KOTONOHA」)を用いて、漢語 「微妙」の用例を採集し、「微妙」の使用実態及び意味用法について考察した。趙(2012)の主な考察内容としては①「KOTONOHA」のサブコーパス間の位相によって 「微妙」の使われ方に異なる傾向がみられる②1970年代から2000年代の「微妙」の用例を連体、連用、叙述用法に分類して比較した結果、連用用法と叙述用法が増加する傾向が確認され、「微妙」の俗語の用法が連用及び叙述用法を中心に発達したことが推定される③上記の傾向は、サブコーパスのなかでも特に「非母集団・知恵袋と非募集団・ブログ」で顕著であり、「微妙」の俗語の用法の使い手が若者であることが推定される④具体的な使用例を通じて 「微妙」の中心的な意味用法と周辺的な意味用法について考察した、などがあげられる。

趙(2012)で用いた国立国語研究所の現代日本語書き言葉均衡コーパスは、一部の話し言葉的性格のある部分を除いては基本的に書き言葉コーパスであるため、俗語用法を視野に入れた考察には限界があると考えられる。さらに、「

1) 漢語「微妙とは、字音形態素語基「微妙」に「な」「だ」「に」の和語の助辞がついて文の成分となるものを指す。
2) 『三省堂国語辞典第六版』(2008)三省堂, p.1181
3) 『三省堂国語辞典第六版』(2008)三省堂, p.1181

교보문고 KYOBO Book Centre

KOTONOHA」のように多様なジャンルを網羅したコーパスは、現代語における漢語 「微妙」の使われ方の全体像を概観するには適しているが、一方で資料の均一性に欠くという問題点のほか、短い期間の現代語を対象としたコーパスであるため、時代による言葉の推移を考察するコーパスとしては有用でないという問題点もある。したがって、本稿では話し言葉コーパスである 「国会議事録」コーパスを用いて、趙(2012)の考察結果を踏まえつつ、「KOTONOHA」による考察では深く踏み込めなかった漢語 「微妙」の意味用法の特徴を明らかにすることを目的とする。具体的には、「国会議事録」における 「微妙」の使用状況を概観するとともに、現代語の俗語用法につなる談話機能を中心に、「国会議事録」における「微妙」の意味用法の特徴を明らかにすることが本稿の研究課題である[4)]。

Ⅱ. 研究資料について

本稿では考察に際し、「国会議事録」から 「微妙」の用例を採集しデータベース化した。「国会議事録」とは、正確にはオンライン上で公開されている国会会議録検索システムウェブサイト(http://kokkai.ndl.go.jp)を指す。ここには、衆参両議員の本会議会議録及びその委員会の記録が納められており、今現在1947年から2013年現在までの約60年間の国会議事録の会議録が検索可能である。「国会議事録」の言語資料としての位置づけについては、松田(2008)の記述が参考になるので、引用しておく。

> 「国会議事録」は、戦後政治史研究者にとっての第一級資料であるが、別な観点からこれを考えると、日本各地出身である成人の戦後60年近くにわたる改まった話し言葉での膨大な発話記録とも捉えることができる。話者(議員)の生年で考えると、19世紀後半から20世紀後半までとなり、理論上は100年にわたる範囲の話者の発話を納めていることになる。しかもそれが簡単に検索できる状態に置かれているわけである。言語研究者であれば、当然国会会議録を日本語コーパスとして使うことを考えても不思議はない[5)]。

4) 本稿の考察の際、趙(2012)の「KOTONOHA」の用例を引用することがある。

교보문고 KYOBO Book Centre

松田(2008)でも述べられているように、約60年間にわたる膨大な話し言葉資料という位置づけが本稿の考察資料として「国会議事録」を選んだ主な理由である。冒頭で触れたように、「微妙」の談話機能に焦点を当てて考察を行うには、話し言葉コーパスが書き言葉コーパスより望ましいことはいうまでもない。さらに単一のコーパスを使うことによってコーパスの均一性が保たれ、ある程度の時間的幅を持ったコーパスを使うことで、経年的な調査が可能となる。もちろん、「国会議事録」は自然談話をそのままデータ化したものではないので、松田(2008)でも指摘されているように、話し言葉コーパスとしての限界点は十分念頭に入れておく必要があるだろう。

> これまで見てきたような会議録を言語研究に使う場合、どのような資料として位置づけるべきだろう。前節で見た通り、字句の整理を経た会議録は、言い誤り、冗長性、繰り返し、語順の乱れなどといった自然談話的特徴が修正されている。また、質問・答弁で原稿や資料を読むことも多い。当然これでは全くの自然談話とは見なせない。結局のところ、口語的特徴も多分に残しているが、書き言葉と話し言葉の中間的性格を持つものと位置づけるのが正しいものと思われる[6]。

すなわち、基本的に 「国会議事録」は話し言葉コーパスであるが、そこには書き言葉的な要素が多分に混ざっており、自然会話をそのままコーパス化したものと同等に位置づけることはできないとのことである。

国会議事録から「微妙」の用例を採集する際は、1947年から1949年、1967年から1969年、1987から1989年、2007年から2009年の20年おきに四つの区間を設定して検索を行った。検索の際は、「微妙」「びみょう」「びみょー」「ビミョウ」「ビミョー」の五つの表記で検索し[7]、検索の対象は、衆参両院のうち衆議院だけにした。

---

5) 松田謙次郎編(2008)『国会議事録を使った日本語研究』ひつじ書房, pp.1-2
6) 松田謙次郎編(2008)『国会議事録を使った日本語研究』ひつじ書房, p.25
7) 音声言語を速記の記録に文字化し、さらに整文する作業を経ているので、漢字表記「微妙」以外に「ビミョウ」などに表記される可能性はまずないと考えられるが、一応検索の際は複数の表記で検索を行った。ところが、予想のとおり「微妙」以外の表記の例はみられなかった。

교보문고 KYOBO Book Centre

Ⅲ.「国会議事録」における使用状況

3.1「国会議事録」の集計

次の表1は、「国会議事録」から「微妙」の用例を年代別に検索し、集計したものである。

表1「国会議事録」の「微妙」の集計

1947-1949	220
1967-1969	458
1987-1989	272
2007-2009	301
計	1251

1960年代とほかの年代で若干差がみられるが、それを除くと1940年代から2000年代までの「微妙」の用例数に大きな変動はみられない。母集団となる「国会議事録」のデータ量が各年代で均一とは限らないので、1960年代に用例が若干増加し、1980年代にはまた減少する傾向をもって、「微妙」の用例の増減を論じることはできないと考えられる。次に、次のページの表2で各年代の「微妙」の用例を連体、連用、叙述用法などに分類し、年代による推移を調べてみる。まず、以下に「微妙」の連体、連用、叙述用法の順でその例を示しておく[8)]。

[01]○日高政府委員　(省略)この問題は非常に微妙な問題でありまして、私ども門外漢が勝手に結論を下すということには、非常な危険を伴いますので、私どももいろいろな陳情や議論を聞きながら、慎重に事を処したいというふうに考えておつたのでありますが、(衆-厚生委員会-1号 昭和23年12月04日)

[02]○大石(正)委員　(省略)アメリカと中国は非常に友好関係にありますけれども、日本はかつて中国にいろいろと御迷惑をかけたということもあり、アメ

8)　叙述用法には、次の例のように連体節のなかで叙述成文としてはたらく場合も含まれる。「○海江田委員(省略)そのお金を埋蔵金から持ってくるということも一つの考え方でありますが、今国債の市場の金利が非常に微妙なときを考えると、(衆-予算委員会-2号 平成21年11月02日)」

교보문고 KYOBO Book Centre

リカと中国の立場と日本と中国の立場はやはり微妙に違ってくると思います。(衆-外務委員会-2号 平成01年11月10日)

[03]○山田(岸)政府委員 (省略)また、家庭に入りまして御飯の炊き方というのも非常に微妙でございまして、できるだけ一時間ぐらい前に洗って水につけておく、こういうこともおいしい御飯の食べ方に関連するようでございまして、(衆-農林水産委員会-7号 昭和62年09月01日)

[04]○横田委員 簡単にまとめて言つておきます。第一、談話の中の十一、その中に複雑微妙という言葉が出ておりますが、この複雑微妙ということを聞かせていただきたいということ。(衆-農林委員会-1号 昭和24年12月19日)

上記の例[04]はその他の例であるが、ほかにその他には「微妙きわまる」「微妙さ」[9]「微妙かつ」「微妙にして」などが含まれる。

表2「微妙」の連体・連用・叙述用法の集計(「国会議事録」)

年代	連体用法	連用用法	叙述用法	その他	計
1940年代	167(75.1)	5(2.3)	31(14.9)	17(7.7)	220(100.0)
1960年代	359(78.4)	25(5.5)	62(13.5)	12(2.6)	458 (100.0)
1980年代	207(76.1)	34(12.5)	23(8.5)	8(2.9)	272(100.0)
2000年代	210(69.7)	40(13.3)	46(15.3)	5(1.7)	301(100.0)

(括弧内の数字は百分比)

表2の 「微妙」の文中での用法の推移では、2000年代に若干減少するようにみえるものの、どの年代でも連体用法が全体の約7割以上を占めている。連用用法は徐々に増加する傾向にある。叙述用法は1980年代に若干減少し、2000年代には再び1960年代の水準にもどるが、それを除くと全体的に一定している。その他

9) 「微妙さ」の例は1969年の次の例がもっとも早い。「○林委員(省略)かりに東京都にあいうような大規模な、関東大震災のような大規模な火災が発生するような事態が起きた場合、たとえば水道が断水してしまう、道路が通れなくて消防車が運行できなくなる、あるいは電気がとまる、こういう防火施設が機械化せばするほどまた非常な微妙さも持ってきますので、道路、水道、電気というようなものが破壊されると、消防の機能が麻痺するということが考えられるわけですけれども、そういうことについて消防庁はどういうようにお考えでしょうか。」(衆-地方行政委員会-11号 昭和44年03月11日)

교보문고 KYOBO Book Centre

のものは全体的に減少する傾向にある。

表2は、1940年代から2000年代までの比較的短い期間の集計であるが、そこから漢語 「微妙」が徐々に日本語の形容動詞として定着していく様子がうかがわれる。本来中国語である漢語が日本語化する過程については山田(1940)の次の指摘が参考になる[10)]。

> 一般に外国語が国語の内に借用せらるゝには主として、体言として用ゐらるゝものにして、又それが、深く国語のうちに侵入するとしても、副詞と用言との間にとどまるものなり。かくて、以上三類の範囲に止まるものなり。これらは皆所謂観念語にしてそれら本来の語の有する観念が国語のそれらと類似する点あるよりしてそれらの観念に基づいてそれらを国語に準じて取扱ふものとす[11)]。

山田(1940)からの引用は、漢語は本来外国語であって、日本語に借用されるわけであるが、それにはいくつかの段階があり、まず最初は体言として受け入れられ、それがさらに日本語化すると日本語の助辞がついて日本語の副詞や用言となるが、日本語の助詞や助動詞の類にはならない、という主旨である。山田(1940)の指摘どおり、漢語 「微妙」も最初は体言として受け入れられた段階があり、徐々に日本語の形容動詞化していく過程を経たとすれば、次の 「微妙」の体言の例はそれを裏付ける例といえるだろう。例[05]は、1例ではあるが、助詞「を」を伴った体言の例で、現代語の用法とは明らかに異なる。

> [05]○原彪之助君（省略）しかるに、われわれが独立をして仲間入りをしようとする國際情勢はすこぶる微妙をきわめ、冷たい戦争の声をさえ聞く今日、軍備を捨てて平和な文化國家を建設しようとする日本として、この國際情勢に対処して、いかにしてわれわれの所期の目的を達成しようとするか。（衆-本会議-6号 昭和23年12月08日）

「微妙」の形容動詞の用法の確立は、表2の連用用法の推移からもうかがわれ

10）引用の際、旧字体は通用の字体に改めた。
11）山田孝雄(1940)『国語の中に於ける漢語の研究』宝文館, p.452

교보문고 KYOBO Book Centre

る。時代とともに「微妙」の連用用法の例が増加していく傾向がみられるのは先に指摘したとおりであるが、連用修飾の内容面でも、形容動詞の用法の確立を裏付ける変化がみられる。1940年代の連用用法の例は、用例数そのものも5例でほかの年代に比べて著しく少ないが、そのうち3例は形式用言「なる」を修飾する例である。

[06]○吉田國務大臣 （省略）その後國際関係が微妙になつたがために、遷延されて今日になつております。（衆-外務委員会-2号 昭和23年12月06日）

[07]○増田國務大臣 （省略）しかも実際の行政整理によほど直接の影響も持つて來ることになりますか、その問の区別ということは、きわめて微妙になつて來ますけれども、こういう方針でやるんだというようなことになりますと、基準になりますし、今日三割首を切れというようなことは、お互いに協約しなければ白を切れないということでは、私はないと思う。（衆-労働委員会-8号 昭和23年11月25日）

例[06]と[07]で「微妙」の修飾対象である「なる」は、実質的な意味の希薄な形式用言であるため、「微妙」はもっぱら用言「なる」の様態を修飾するとはいえない。形からすれば連用成分であるが、実質的には名詞的成分の属性を表す叙述成分に近いものといえる。形容動詞の連体及び叙述用法と連用用法のはたらきについては、鈴木(1982)の次の記述が参考になるので引用しておく。

> このうち連体修飾語は文中のあらゆる名詞的成文の属性(attribute)を表し、述語は主格に立つ名詞的成文の属性を表すものであるから、連体修飾語と述語はattributeを表す成文として一つに括ることのできるものである。これに対して連用修飾語は、名詞的成文には関係せず、専ら動詞的成文に関係し、その様態(manner)を表すものである(ここでのmannerは広く副詞的修飾まで含める)[12]。

鈴木(1982)では、連体修飾語と述語はattributeを表す成文であり、連用修飾

12) 鈴木泰(1982)「タリ活用形容動詞の通時的変化傾向とその要因」『武蔵大学人文学会雑誌』第十三巻第十四号, p.89

교보문고 KYOBO Book Centre

成文はmannerを表す成文であると区分しているが、これによると、例[06]と[07]の「微妙」は形式上はmannerを表すものであるが、実際はattributeを表す成文に近いということである。そして1960年代以降は、連用用法の形式用言　「なる」の修飾例は徐々に減少する代わりに、修飾対象の用言が多様になる傾向がみられ、修飾の内容面でも「微妙」の連用用法が定着していったとみられる。

[08]○稲葉政府委員　（省略）そういう意味で、先ほど局長が類型化は非常に難しいというふうに申し上げましたのは、具体的な事案によって判断が非常に微妙に変化する、（衆-法務委員会-11号 昭和63年04月22日）

[09]○菅直人君（続）（省略）特に、米国の変化への安倍総理の対応です。米国では、民主党が躍進して上下両院で過半数を占めるようになり、ブッシュ政権も外交姿勢を微妙に変えつつあります。（衆-本会議-49号　平成19年06月29日）

なお、漢語が外来語を修飾するか否かも日本語化をはかる尺度の一つであるが、「微妙」の外来語の修飾例で時期的にもっとも早いのは以下の1968年の例[10]である。外来語の修飾例は、1960年代に3例、1980年代に7例、2000年代に12例と、徐々に増加する傾向にある。次は、修飾する外来語の全例をあげたものであるが、このうち、「微妙なニュアンス」と「微妙なバランス」で外来語の修飾例全体の8割近くを占める。

ケース　スケジュール　セクト　タイミング　ニュアンス　バランス

[10]○山田政府委員　ただいま御指摘になりましたのは、まだその広告を全文拝見しておりませんからよくわかりませんが、ただいま伺いましただけでは付随にならないのではないかと考えますが、なかなか微妙なケースがございまして、クイズの一問についてわからなかった場合には当該商品の中に印刷してあるマークを一つ張りますとそれで正解になるとか、さようなかなり購入をいたしたほうが有利であるようなものがございますので、その辺の問題の規制について検討をいたしております段階でございます。（衆-物価問題等に関する特別…-8号 昭和43年04月18日）

교보문고 KYOBO Book Centre

3.2「国会議事録」と「KOTONOHA」の比較

ここでは、趙(2012)で考察した「KOTONOHA」と「国会議事録」の集計結果の比較を通じて、「国会議事録」コーパスから収集した「微妙」のデータの性格について考察する。次の表3は、「国会議事録」と「KOTONOHA」を連体・連用・叙述用法・その他に分類し、比較したものである[13)]。

表3「国会議事録」と「KOTONOHA」の連体・連用・叙述用法の集計の比較

	連体用法	連用用法	叙述用法	その他	計
「国会議事録」	943 (75.4)	104 (8.3)	162 (12.9)	42 (3.4)	1251 (100.0)
「KOTONOHA」	1280 (45.4)	805 (28.5)	678 (24.0)	59 (2.1)	2822 (100.0)

(括弧内の数字は百分比)

表3の両者の比較からは比較的はっきりした傾向の違いがみられる。「国会議事録」は「KOTONOHA」より連体用法の割合が高い反面、「KOTONOHA」は「国会議事録」より連用用法と叙述用法の割合が高い。特に両者の連体用法の差が著しい。この結果を単純にいうと、話し言葉では「微妙」の連体用法の割合が高く、書き言葉では連用用法及び叙述用法の割合が高い、ということになる。ところが、次のページに引用する表5はそれと反対の傾向を示している。次は趙(2012)から、「KOTONOHA」の2000年代の用例を話し言葉の特徴のある「非母集団・知恵袋と非母集団・ブログ」と、それを除いた「非母集団・知恵袋と非母集団・ブログ以外」に分けて集計した表5とそれについての記述を引用したものである。

13) 「KOTONOHA」は、3つのサブコーパスにより構成される。そのうち非母集団(特定目的)サブコーパスは書籍、広報紙、Web上の書き言葉など、ほかの2つのサブコーパスに含まれにくいデータなどを収録したもので、ここには国会議事録も含まれている。ただし、「KOTONOHA」の非母集団(特定目的)サブコーパスは、ランダムサンプリングが基本であり、収録する資料の刊行年代は様々で、最長が1976から2005年であるので、一部本稿の「国会議事録」資料と重複する部分もあると予想されるが、多くはないとみられる。

교보문고 KYOBO Book Centre

表5「微妙」の連体・連用・叙述用法の集計(2000年代)

	連体用法	連用用法	叙述用法	その他	計
非母集団・知恵袋と非母集団・ブログ	319 (27.2)	360 (30.7)	468 (40.0)	24 (2.1)	1171 (100.0)
非母集団・知恵袋と非母集団・ブログ以外	622 (57.2)	309 (28.4)	143 (13.2)	13 (1.2)	1087 (100.0)

(括弧内の数字は百分比)

これによると、非母集団・知恵袋と非母集団・ブログのものがそれ以外のものに比べて、連体用法の割合が低い一方、叙述用法の割合が高い傾向が顕著に表れている。表4と表5にみられる傾向を合わせて考えると、1970年代から2000年代の間はWebの用例を除くと、連体用法が減少し、連用・叙述用法が増加する傾向が確認されるものの、その増加ぶりは緩慢である。ところが、2000年代のWebの用例をも含めて考えると連体用法が減少し、連用・叙述用法が増加する傾向はよりいっそうはっきりする。すなわち、「微妙」の新しい意味用法は連体用法よりは連用・叙述用法を中心に使われたことと、Webの用例にその傾向が著しいことが確認される[14)]。

引用した記述で注目すべきところは、話し言葉の特徴のある　「非母集団・知恵袋と非母集団・ブログ」で連体用法の割合が減少、叙述用法の割合が増加する傾向が顕著だということである。表3の、話し言葉では「微妙」の連体用法の割合が高く、書き言葉では連用及び叙述用法の割合が高いという結果とは反対の結果なのである。次に、表３の「国会議事録」の集計結果を引用した表5と比較すると、「国会議事録」の集計結果は「非母集団・知恵袋と非母集団・ブログ」より「非母集団・知恵袋と非母集団・ブログ以外」の集計結果と類似している。この結果から、「国会議事録」コーパスの特徴の一面をうかがうことができる。すなわち、表3と引用した表5との比較から、「国会議事録」は話し言葉コーパスであるが、その性格は話し言葉の特徴を持つ「非母集団・知恵袋と非母集団・ブログ」より、それを除いた　「非母集団・知恵袋と非母集団・ブログ以外」により近いと

14) 趙英姫(2012)「漢語「微妙」の意味用法について」『日本言語文化』23, 韓国日本言語文化学会, pp.358-359

교보문고 KYOBO Book Centre

いうことである。実際に、ある程度予想されたことではあるが、「国会議事録」からは「KOTONOHA」の「非母集団・知恵袋と非母集団・ブログ」にみられるような、「微妙」の俗語用法の例はみられなかった。先に引用した松田(2008)では「国会議事録」について書き言葉と話し言葉の中間的な性格のものという指摘があったが、今回の比較結果をもって書き言葉と話し言葉の中間的なものとまでは断定できないものの、話し言葉コーパス「国会議事録」に書き言葉の特徴が多分にあるということは確かであることが明らかになった。

Ⅳ. 漢語「微妙」の意味用法の特徴

4.1 意味用法間の関わり

ある言葉に複数の意味用法があるとしたら、その意味用法の間には互いに何らかの関連性が存在すると考えられる。「微妙」のように、意味用法間に位相の差が存在する場合でも、意味の関連性は存在するはずである。特に、「(俗)判断がつかないときの返事に使う若者ことば。」(『三省堂国語辞典第六版』の③の意味)は、主に話し言葉の問答に頻繁に使われるものなので、俗語用法の例はないにしても話し言葉コーパス「国会議事録」には、意味の面で俗語的な意味用法と関わりを持つところがあることが予想される。4.1では、「国会議事録」を用いて「微妙」の意味用法間の関わりについて考察を行う。

趙(2012)では、ある語に複数の意味用法があり、そのなかでも一般的に使用頻度が高く、多様な場面で使われ、年代的にもかたよりなく使われるものを中心的な意味[15]とした。そして、「微妙」の意味用法のうちその基準に該当するものとして、① 「美しさ・味わい・状態などの、こまかなところに重要な意味がこめられていて、ひとくちに言いあらわせないようす。デリケート」(『三省堂国語辞典第六版』の①の意味)と② 「どっちともはっきり言い切れないようす」(『三省堂国語辞典第六版』の②の意味)をあげた。①の意味用法の「微妙」は修飾対象となる

15) 趙英姫(2012)「漢語「微妙」の意味用法について」『日本言語文化』23, 韓国日本言語文化学会, p.360

교보문고 KYOBO Book Centre

名詞の属性を表すもので、修飾対象の名詞で出現頻度の高いものには次のものがある。

動き　関係　問題　質問　段階　情勢　状態　点　立場

[11]○樋貝国務大臣　政治上の関係におきましても、国際的にも国内的にも、非常に微妙な関係に立つておりますために、ただいまどういう構想を持つておるということを申し上げることができないのを遺憾とする次第であります。（衆-予算委員会-7号 昭和24年11月22日）

[12]○亀徳政府委員 先生おっしゃいますように、なかなかこれは微妙なデリケートな問題でございまして、基本的な考え方は、先ほど来大臣がおっしゃいますように、基本線は変わらないのでございますが、（省略）（衆-大蔵委員会-37号 昭和44年06月13日）

[13]○木村説明員　先ほど申し上げましたとおり、現在の財政状態、また国際経済の動向もきわめて微妙でございますので、そういう諸般の事情を考慮いたしまして、最大限の努力を行なうということで、きわめて慎重を要するということはもうお察しのとおりでございます。（衆-地方行政委員会-60号 昭和44年10月08日）

一方、②「どっちともはっきり言い切れないようす」の「微妙」は、ある一つの事柄の成立可否について可否のうちどっちになるのか判断が難しい状態を表す。この場合、「微妙」は判断の対象となる事柄についての判断を述べることになるので、常に文中で叙述成分となるいう特徴がある[16]。また、②「どっちともはっきり言い切れないようす」の意味用法は、よく「-か、-か」「-かどうか」などを伴い、事柄の成立可否の問いに対する判断を叙述するという特徴がある。以下の例は、②「どっちともはっきり言い切れないようす」の例である。

[14]○滝委員　日本は今景気が悪い、したがって研修生を受け入れる余裕がない

16)　実際の例では、「微妙だ」という叙述用法の形式のほか、「微妙なところだ」の例も多くみられる。「微妙なところだ」は形の上では形式名詞「ところ」を修飾する連体用法であるが、実質的には叙述用法に近いとみるべきであろう。

교보문고 KYOBO Book Centre

という前提に立てば、当然、今まで一本調子でふえてきた研修生がこれからふえるのか減るのか、微妙なところだろうと思うんですけれども、(省略)(衆-法務委員会-10号 平成21年05月12日)

[15]○園田(康)委員 そうすると、基本法の改正が、ことし五年目の見直しということでこの国会で行われるのかどうか、まだちょっと微妙なところではありますけれども、この基本法の改正、権利条約も含めてことしはさまざまな動きをしていかなければいかぬというふうに私は申し上げてきたわけであります。(衆-厚生労働委員会-12号 平成21年04月22日)

②の意味用法で、成立可否について可否のどっちになるのか判断が難しいというのは、成立の可と否の境界線が複雑・デリケートではっきりしない、結局どっちになるのか判断が難しいという意味にも解釈可能であり、この解釈からすると、②の意味用法は①の意味用法から派生したと考えられる[17]。この推測は、二つの意味用法間の用例の推移から、ある程度は裏付けが可能である。「微妙」の用例全体で大半を占めるのは①のほうであり、② 「どっちともはっきり言い切れないようす」の意味用法の用例は①に比べると多くなく、40に満たない。さらに、時代による推移でいうと、②「どっちともはっきり言い切れないようす」の用例の多くは1980年代以降のものであり[18]、それ以前の1940年代と1960年代の例は次の例[16]を含めて3例で少ない。すなわち、②「どっちともはっきり言い切れないようす」の意味用法の定着は1980年代以降と推定される。以上の点からして、二つの意味用法の関係は、本来あった①の意味用法から②の意味用法が派生した可能性が高いといえる。

17) 趙(2012, p.361)では、①と②の中間的な例として、次のように、二つの事柄が取り上げられ、両者の境界線が複雑でひとくちに言いあらわせないことを意味するものがあることを指摘した。[08]「気がつきすぎることの弊害のもう一つは、おせっかいになってしまうことです。他人に対してよかれと思って言ってあげることや、手伝ってあげる行為が、当の相手にはありがた迷惑、よけいなおせっかいになってしまう。そんなことがあります。「気がつく・気がきく」ことと「おせっかい」は紙一重です。その境界線はとても微妙で、とくに日本人の感覚では、難しい部類にはいるものでしょう。(『なぜ、あの人は"人付き合い"が上手いのか』、和田秀樹、2002、ゴマブックス、流通・書籍)

18) 趙(2012, p.353)では、②「どっちともはっきり言い切れないようす」の語釈が『新明解国語辞典第五版』(1997)の記述にはないが、『三省堂国語辞典第五版』(2001)で追加されたことを報告した。

교보문고 KYOBO Book Centre

[16]○上林山委員　中小河川に対する査定の方針、あるいは中小河川に編入せられざる、あるいは編入直前にある中小河川、そういうものに対する災害の査定の方針、これは私が言つたような意味において査定をされる御意思であるのか、それとも今までのような付随したる有効耕地面積というようなところに重点を置かれるのか、そこは少し微妙になりますが、そういう点を伺つておきたいのでありますが、建設大臣からでも安本次官からでもけつこうですが、御答弁を願います。(衆-予算委員会-4号　昭和24年11月18日)

4.2 俗語用法につながる漢語「微妙」の談話機能

ここでは、「国会議事録」における「微妙」の談話機能に焦点をあてて考察し、俗語用法との関わりを探ってみる。辞書の記述によると、「微妙」の俗語用法は、相手によってある事柄についての判断を求められた際、判断が難しいことを表す表現で、使い手は主に若者であるとされる。たとえば、次の例[17]-[19]のような場合である。

[17]先程スーパーを出た所で五千円札を拾い、スーパーに届けたら　「警察へ。」と言われました。牛乳２本も買って重かったので一度帰宅したのですが…行くのが面倒になってしまいました。みなさんなら届けますか？……桃。うーーーーーーー微妙～～～～～。俺どうするんだろう。帰宅してから警察でしょーーー５千円なら行く！もしかしたら子供がおつかいに行って落としていたとしたらすごくかわいそうだから。(「Yahoo!知恵袋」、2005、非母集団・知恵袋)

[18]転職活動中の二十七歳です。(女)面接の際は１．リクルートスーツ２．上下おそろいのスーツ３．　ジャケット・タイトスカートが基本かと思いますが、ジャケット・タイトスカートのスタイルではまずいでしょうか？？微妙。いままでどんな仕事してでどんな仕事に転職？業界によって違うと思うんですよね。それがまずいと思う会社もあればそうでない会社もあるでしょう。「服装自由」な会社でないのならスーツで行って損は無い。(「Yahoo!知恵袋」、2005、非母集団・知恵袋)

[19]ハロウインの時期のデイズニーランドは、平日でも混んでいるとは思いますが、今月二十二日だったら比較的大丈夫でしょうか(＞＜)??毎年、１回は行

교보문고 KYOBO Book Centre

きますがいずれも2時間待ちが普通だったので、今年こそはそんなに待ちたくないんです(；＿；)微妙ですね～。二十日までの3連休に運動会があるところが多く、二十一日が振替休日の学校・幼稚園が周辺にはとても多いので二十一日はかなりの混雑。二十三日がまた祝日ですので前日休みをとって2日間くる人もいますし。二十一日よりはマシだと思います。(「Yahoo!知恵袋」、2005、非母集団・知恵袋)

上記の例で話し手は、まず答弁の冒頭で 「微妙」を使って、質問に対する判断が難しいことを相手に断り、そのあと具体的な意見を述べている。この場合、「微妙」は文字通りの表面的な意味のほか、ある談話的な機能を担っていると考えられる。話し手が自分の意見を聞き手に提示する際、「微妙」と断ることによって、そこには判断が難しいので強くはいえないがのニュアンスが加わり、話し手の意見を聞き手に婉曲に提示する効果が期待されるのである。

以上のように、「微妙」が談話においてある機能を果たすと考えられる例は、「国会議事録」の談話にもみられる。「国会議事録」の談話は、基本的に国会議員の質疑応答で構成されているが、質疑・応答の際、「微妙」を含む 「これは非常に微妙ですが」「この辺は微妙ですけれども」「微妙なところですが」などの表現が冒頭で頻繁に使われることが観察される。これらの表現はもちろん、談話で取り上げられている問題や状況などが複雑でデリケートだという表面的な意味を表すが、談話全体でみると、ある一定の談話機能を担うパターン化した表現として使用される傾向がみられる。

[20]○小川(淳)委員　取締役会にゆだねるという、一つの御見識だとは思いますが、取締役兼代表執行役社長ですから、そこは何らかの御見識があってしかるべきだと思いますし、この場でどこまで言えるかというのは確かに非常に微妙なところかと思いますが、その辺については、来るべきときに備えてしっかりとした御見識を改めてお持ちいただきたいと思います。(衆-総務委員会-24号 平成21年06月30日)

[21]○岡本(富)委員　私の聞いているのはそこじゃないのです。今度騒音防止法を国会に提出してくるその原案について、航空機の騒音を、たとえば何ホン

교보문고 KYOBO Book Centre

なら何ホン、それ以上は規制しなければならぬというような、私はヒントを与えますけれども、そういうことで、あなたのほうが――今度厚生省が出してくるといいますけれども、これは運輸省も関係しているわけですから、その点について、その法案が通ればこの問題は解決するのかどうか、どういうように解決するか、そこのところを、微妙なところですが、あなたが御存じだと思うのですが、どうですか。（衆-産業公害対策特別委員会-7号　昭和43年04月18日）

[22]○野坂委員　公取にお尋ねをしますが、今お話があったように、原子力保険というのは大数方式はなかなか難しい、したがって個別認可をやめて標準方式、包括認可という方向でやるわけであります。包括認可ということになると標準的に、大まかにということですね。その場合は、公正取引法に基づいて、これは非常に微妙ですが、公取法違反にはならないというふうな御認識ですか、今の御答弁を聞いて。（衆-科学技術委員会-2号　平成01年03月23日）

例[20]-[22]の下線を引いた「微妙」を含む表現は、質問の前置きで直接質問の内容に関連するものではないので、当然なくても質問内容そのものに影響はない。ここで「微妙」を含む表現は、質問内容の前置きとしてあとに続く質問内容が複雑でデリケートな内容であることを話し手が述べ、当然それに対する答弁も難しいことが予想されるものの、質問に答えてほしいという意味を添えている。すなわち、「微妙」を含む表現の前置きを添えることによって、聞き手に質問を婉曲に提示する談話的機能を果たしているのである。

そして、答弁の際も「微妙」を含むパターン化した表現が頻繁に使われることが観察される。質問のときと同様、答弁の冒頭、あるいは答弁の中心内容が述べられる直前に、これらの表現が来るという特徴がある。

[23]○戸叶委員　先ほども私申し上げましたように、アジアの諸国からの援助の要請額というものは相当たくさん出ていると思います。たとえばインドネシアが一億何千万ドル、台湾が三億ドルの借款とか、いろいろ出ているわけですけれども、それでは、そういうものをいまの愛知外務大臣の構想に従ってやっていくけれども、その中であるものは削りながら、あるものは助けなが

교보문고 KYOBO Book Centre

ら、あるものは要求額に応じながらしていく、いまともかくこれまでよりは援助額をずっとふやして、それらの要望にこたえていきたいけれども、大蔵省との関係もあるから、あるものは削りながらいくんだ、こういうふうに考えてもよろしいわけでございますか。○愛知国務大臣　それはなかなか微妙なところなんですけれども、実は援助を受ける国のほうの御希望だけを片っ端から取り上げていくというようなことは、私は国益上やるべきことではないと思います。(衆-外務委員会-7号 昭和44年03月19日)

[24]○末木政府委員　第一点の詐欺との関係でございますが、詐欺罪は刑法の二百四十六条でございますが(中略)つまり、相手方が財物を取得したり利益を得るということに構成要件がなっている。これに対しまして、今回のこの五条の二の「禁止行為」でございますけれども、今のようにだました人が積極的にといいますか、結果的に財物を取得したりあるいは財産上不法の利得を得るかどうかにかかわらず、このような行為があれば、不実告知があるとかということに基づきまして契約が締結されあるいは代金が支払われたという行為があれば、その結果、今たまたま代金が支払われたと申し上げましたけれども、支払われなくても、契約が締結されただけでも、その行為自体に着眼しまして違反が成立すると思います。微妙なところでございますけれども、もうちょっと常識的に申し上げますと、刑法上の詐欺の成立を立証するのはなかなか容易ではございません。現実には警察庁が非常に取り締まりをしてくださっておりますけれども、いろいろ具体的な事例に即しますと、なかなかその立証のために、消費者もそれだけの立証の能力が必ずしもない。(衆-商工委員会-9号 昭和63年04月19日)

[25]○佐々木(良)委員　(省略)その約束の裏に、もしドル相場の維持のために、自国通貨で買いささえを行なって、その結果その国の中央銀行にドルがたまったような場合には、このドルに対しては、アメリカが公定レート一オンス三十五ドルで金とかえてあげますよ、こういう密約でもあるならば、これは相当しっかりしたような約束になるでしょう。そのような約束、裏づけがあなたはあるとごらんになりますか。そのような歯どめがあるとごらんになりますか、ないとごらんになりますか。○宮澤国務大臣　それは非常に微妙でございますけれども、現在蓄積されておるドルについての交換は求めないという了解があったのではなかろうか、こう思っております。(衆-予算委員会-19号 昭和43年03月29日)

교보문고 KYOBO Book Centre

質問の場合と同様、答弁の前にくる「微妙」を含む表現も答弁内容そのものには影響を与えない。答弁者は、答弁内容の前置きで「微妙」を含む表現を使うことによって、答弁の対象となる問題、状況などが複雑でデリケートであることを断り、答えにくい問題であるが自分はこう考えると自分の答弁を述べている。実質的な答弁内容には影響しないで答弁内容の提示という形式的な面に関わるものであり、質問のときと同様、答弁の判断内容を相手に婉曲に提示する談話的機能を担っていると考えられる。

以上で「国会議事録」にみられる「微妙」を含む表現の談話機能について述べたが、これはいくつかの点において「微妙」の俗語用法と通じるところがあるとみられる。まずは、質問・答弁の冒頭で前置きとして使われる点である。そして、判断が難しいという表面的な意味のほか、質問・答弁内容を聞き手に婉曲に提示する、提示の仕方に関わる表現という点でも共通している。もう一つ、パターン化するという共通点も指摘できる。ここでいうパターン化とは、これらの表現が使用される際、決まった形式で使われる傾向があるという意味である。ある表現が談話において一定の機能を担ってくると、形式の上でも決まった形式をとる傾向があると考えられる。「国会議事録」で似たような談話機能を持つ「微妙」を含む言い方が「微妙な問題になりますが」「この辺は微妙ですが」「微妙なところですが」など、決まった言い方で繰り返し出現するのもパターン化の例である。そして、パターン化は、俗語用法にもみられる。俗語用法の「微妙」は、一般的な文章での使い方とは違って、「微妙」「びみょー」「ビミョー」のような、特定の形式で使われる傾向がある。このような現象も、俗語用法の「微妙」の談話機能の定着とともに、その談話機能を担う特定の表現形式がパターン化したものしてと解釈できるだろう。

最後に、「国会議事録」にみられる中心的な意味用法と俗語的な意味用法との関わりとして、否定的なニュアンスの含意について触れておきたい。趙(2012)では、判断が難しいという俗語用法の「微妙」は、YESとNOのどちらにも傾かない中立的な立場を表すが、否定的なニュアンスで使われる傾向もあることを指摘した。たとえば、以下のような例である。

교보문고 KYOBO Book Centre

[26](省略)ＡＤＳＬ自体がベストエフォート型のサービス(最低速度を保障しない)なのでそんあ言葉は信じてはいけませんよ。ダイヤルアップにくらべれば０．３Mが出てれば「快適」と取れます。最低○M速度を保障とは書いてないはずです(笑)ＡＤＳＬはぶっちゃけ３キロぐらいの距離の人はそこそこ満足する距離がでますが、それ以上は、微妙です。NW技術者(「Yahoo!知恵袋」、2005、非母集団・知恵袋)

[27]イエローキャブって個性的な女性が多いですよね？それと胸はデカイが何か顔が微妙なのが多い気がしませんか？めぐみ、サトエリ、小池栄子。。。美人ではないけど、やっぱり胸が顔を補完するんですかねぇ…(「Yahoo!知恵袋」、2005、非母集団・知恵袋)

[28]それと、二十六歳の女の子が主人公の割にはちょっと文体が固いかなという印象を受けました。表題作はそれでもまだ良いのですが…但し…書き下ろし二作は非常に微妙でした…。特に２話目は、全く改行なしの構成なので読みづらいことこの上ない。(「Yahoo!ブログ」、2008、非母集団・ブログ)

例[26]の「微妙」は「満足です」に対立するもので、少なくとも満足ではない、場合によっては不満足の意味であり、否定的なニュアンスへ傾いている。例[27]と[28]では、文脈上明らかにマイナスの意味で使われている。俗語用法の場合、露骨に否定的な表現を使うのを避け、その代わり「微妙」を使って否定的なニュアンスを表すことがあるということである。『国会議事録』にも、俗語用法の否定的なニュアンスの含意と関わりを持つ例がみられるのでそれについて触れておきたい。

国会の議論の対象となる事柄というのは、政治・社会的にイシューとなる問題であり、当然国会で究明されなければならない問題点を抱えていることが多い。特に、『微妙』で表現される事柄というのは、そこに複雑でデリケートなところがあって、議論して解決されなければならない対象であることが多い。そのため、肯定的・中立的なニュアンスで表現されるよりは、よく議論の余地のある、問題点の多い事柄として扱われやすい。

[29]○市村委員(省略)　ところが、関西に目を転じてみると、一番利便性の高い伊丹空港を、いろいろな流れの中で、結局、余りそれを活用するという方向

교보문고 KYOBO Book Centre

じゃない。むしろネガティブな方向に物事を発想してきた。しかし現実は、利便性が高いものだから利用者は減らないということで、進んでいいのか引いていいのか、非常に微妙というかあいまいというか事なかれ主義というか、それで今までやってきたような気がします。(衆-国土交通委員会-12号 平成20年04月16日)

[30]○河村(た)委員 では、そういうふうにやりますけれども、要は現場のお巡りさんも微妙なところになりますね。おまえ、ばかやろうということになってくるわけです。そういうときに思わず逮捕してしまうということが結構あるかと思うと、意外と現場のお巡りさんは困っておるのじゃないかと私は思うんだね、こんな細かいことは偉い様はわかってくれぬと。ということですので、ではその事実を。(衆-法務委員会-7号 平成20年04月12日)

[31]○近藤(昭)委員 私は、なかなか微妙なところではないかなというふうに思うわけであります。確かに、米軍というのはそういう意味ではすごいなというふうにも思うわけであります。さまざまな施設、その施設もそういった軍のところに付随をしてある、そういったものを総合的につくっている。ただ、そういったものをすべて日本側が負担をするのはいかがなものかなと思うのと、代表質問の中でも触れさせていただきました、本国にもないようなかなり立派な施設があるというのはバランスを欠いているのではないか。そしてそれを、全体でいうと、本当に日本の負担している費用は多いと思うんですね。(衆-外務委員会-3号 平成20年03月26日)

たとえば、例[29]の「微妙」は、それ自体に否定的な意味はないが、似たような意味として使われている「あいまい」「事なかれ主義」からして、否定的なニュアンスに感じられる。例[30]の「微妙なところ」の具体的な状況は、「おまえ、ばかやろうということ」という否定的な状況を指している。例[31]の「微妙なところ」は、米軍が宗教的施設である教会を米軍基地内に設置したことと関連し、その費用を日本側が負担したこと、本国にもない施設を日本で設置する必要があったかということについての否定的な問題意識が「微妙」で表現されている。すなわち、「国会議事録」には明らかに否定的なニュアンスを表す俗語用法の例はないが、上記の例でみるように、文脈上否定的なニュアンスが感じられる例があり、否定的なニュアンスを表す「微妙」の俗語用法との関わりがうかがわれる。

교보문고 KYOBO Book Centre

Ⅴ. まとめ

本稿では、『国会議事録』コーパスを用いて、『国会議事録』に出現する 『微妙』の使用状況を概観し、趙(2012)の 『KOTONOHA』の集計結果との比較を通じて、『国会議事録』から採集した『微妙』のデータの性格について考察した。また、『微妙』の意味用法間の関わり及び俗語用法につながる 『微妙』の談話機能について考察を行い、次のことを明らかにした。まず、『国会議事録』の集計結果から、本来中国語である漢語が日本語の形容動詞へ用法を確立していくことを、『微妙』の体言及び連用用法の例などを通じて裏付けた。『国会議事録』と『KOTONOHA』の 『微妙』の集計結果を比較した結果、話し言葉コーパスである『国会議事録』に書き言葉の特徴が多分にあることが明らかになった。『微妙』の意味用法の特徴としては、意味的な特徴及び用法の発生時期からみて、① 『美しさ・味わい・状態などの、こまかなところに重要な意味がこめられていて、ひとくちに言いあらわせないようす。デリケート』の意味用法から② 『どっちともはっきり言い切れないようす』の意味用法が派生したことが推定されること、質問・答弁の際、『微妙』が前置きとして使われ、話し手の意見を聞き手に婉曲に提示する談話機能があり、俗語用法につながることを指摘した。最後に、『国会議事録』に否定的なニュアンスを帯びた『微妙』の例があり、俗語用法との関わりがうかがわれることを指摘した。本稿では、趙(2012)の『KOTONOHA』に続いて性格の異なる 『国会議事録』コーパスを用いて、漢語 『微妙』の意味用法の特徴について考察を行ったわけであるが、話し言葉コーパスを使うことによって、趙(2012)では考察できなかった、『微妙』の談話機能について考える機会を得た。今後、さらに資料を補充し、『微妙』の談話機能についての考察を深めていきたい。

교보문고 KYOBO Book Centre

참고문헌

<研究文献>
鈴木泰(1982)「タリ活用形容動詞の通時的変化傾向とその要因」『武蔵大学人文学会雑誌』第十三巻第十四号, pp.89-90
趙英姫(2012)「漢語「微妙」の意味用法について」『日本言語文化』23, pp.351-369
野村雅昭(2012) 「現代日本語の性格」韓国日本研究団体第1回国際学術大会韓日言語分科シンポジウム予稿集, pp.165-166
松田謙次郎編(2008)『国会議事録を使った日本語研究』ひつじ書房, pp.1-2
森山卓郎(2000)「「点」考」『国語学』第51巻1号, pp.31-45
山田孝雄(1940)『国語の中に於ける漢語の研究』宝文館, p.452
<辞書類他>
『三省堂国語辞典第六版』(2008)三省堂, p.1181
http://kokkai.ndl.go.jp(検索日付：2013.1.5-2013.6.20)

❖ 투고일 : 2013.07.01
❖ 심사완료일 : 2013.08.02
❖ 게재확정일 : 2013.08.16

교보문고 KYOBO Book Centre